



所沢市立北野中学校 学校だより 令和6年度5月号

# 北野中だより

校長



日本が成しとげた奇跡 … 成しとげられた理由とは？

日本の歴史の中で、世界から見ると「奇跡」と呼ばれることがらいくつかあります。歴史学者の中には、その奇跡を成しとげられた理由を究明しようと研究している人もいます。ここでは、いくつもある奇跡のうち、2つの内容と、それが出来た理由（学説）の一部をお伝えします。



一つは、室町時代の末期、日本に鉄砲が伝わってきたときの話です。当時の日本人にとって、全く見たことがなかった物なので、当然その仕組みは分かりませんでした。しかし、その後、日本は短期間で、国内で大量生産をすることに成功します。この時期、他の国々にもヨーロッパから鉄砲が伝わりましたが、国産化できなかった国は少なくありません。日本での鉄砲国産化までの時間的な短さと製造した数は、世界史の奇跡の一つと言われています。

日本の鉄砲作りには、日本刀を作っていた刀鍛冶（かたなかじ）が活躍しました。2つの異なる金属を組み合わせて作る日本刀の製造技術は、刃物製造の分野では世界一ではないかと言われていますが、その高い技術力と、「分からないことは調べてみよう！」「考えながら作ってみよう！」という、学ぼうという意欲とチャレンジ精神が日本での鉄砲の国産化・大量生産を可能にしたといわれています。

二つめは、江戸時代から明治時代にかけての話です。鎖国を続け、当時進んでいたヨーロッパの文明を取り入れる機会が少なかった日本は、近代化がおくれていました。その後、開国。それからの急激な近代化は、世界の歴史の奇跡の一つです。

その奇跡を起こすことができた理由の一つに、日本での掃除に関する考え方や取り組みがあります。掃除を一生懸命取り組むことは美徳とされていました。身分制度が厳しい江戸時代、支配者階級であった武士階級でさえ掃除を一生懸命取り組むことが求められました。支配者階級も掃除をするというのは世界史的に見てとても珍しいことです。武士は剣道場の清掃をするなど、武士でも、商人でも、何かを学ぶ際には、その場所の清掃を行いました。寒い日に冷たい水を使って雑巾を絞るなど、掃除はつらい時もあります。また、どうすればきれいになるのか工夫した清掃方法も求められます。そんな中で、めんどろなことをつらいことを乗り越える力、工夫する力を自然に身に付けていくこととなった。掃除で身に着けた力が、日本の近代化を進めた動力の一つになったともいわれています。

## 生徒会オリエンテーション

4月11日（木）3・4校時に、生徒会が主催し、1年生に生徒会や部活動等について説明をしました。1年生に分かりやすく、そして興味を持ってもらえるようにと2・3年生は準備からリハーサルまで力を注いでいました。部活動の説明では、実演を交えていて、1年生から「先輩達すごい」という尊敬の声が多く出ていました。



## ハナミズキ祭り

4月20日（土）に昨年度は雨の為、出演が中止となってしまいましたが、本年度は大勢の方々に賑わう祭りに吹奏楽部が参加させていただきました。野外での演奏は初めてでしたので、今まで以上に緊張していたようですが、演奏、態度とともに立派でした。今後も地域に貢献できるよう努めて参りたいと考えております。

## ロータリーの花壇

学校創立周年の『42』を、庁務手さんが今年もパンジーで形取ってくれました。公開の際にご覧いただきましたでしょうか？

年々クオリティが高まっています。



教職員事故根絶・防止に向けた想いや決意の宣言（ピース）

『3つのK 環境・健康・風通し』  
～私達は子どもの手本です～

北野中ホームページはこちらから

～毎日更新、情報発信に努めております～

<https://tokorozawa-kitano-jhs.edumap.jp>

